

# はじめに

成田市教育委員会

教育長 関川 義雄

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から学校教育をはじめ生涯学習関連事業についても自粛や行事の中止が相次ぐ事態となってしまいました。本年度に入ってから新型コロナウイルスワクチン接種が進んできてはいるものの、感染の勢いは衰えず、その収束は未だに目途が立たず、まだまだ予断を許さない状況です。

このような中、本市では、4月に大栄地区の5つの小学校と1つの中学校を統合し、新たに義務教育学校「大栄みらい学園」を開校いたしました。6月に竣工した新校舎はコロナの影響で完成が若干遅れはしたものの、最初の設計段階から小中一体型の義務教育学校の運営を考慮した造りとし、職員室は1つ、太陽光発電や蓄電池を備えるとともに、多目的に使える教室を複数備えた配置とするなど、使い勝手の良い学校施設としています。また、本市では2番目となる義務教育学校ですが県内ではまだ実践例が少ないため、本市の下総みどり学園や先駆的に取り組んでいる他県等の事例を参考に新たな学校づくりを進めてまいります。

また、本年度から国の「GIGAスクール構想」に基づき、市立小中義務教育学校の全児童生徒並びに教職員に対し、1人1台タブレット端末を整備したことにより、これらの機器を有効に活用して授業を進めることができるようになりました。タブレット端末等ICT機器の活用は、これまでの授業スタイルを大きく転換させ、児童生徒の学習に取り組む意欲を向上させることに寄与するとともに、主体的な学びを継続させることでさらなる学力の向上を期待できるチャンスでもあります。教育委員会では各学校が「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりに積極的に取り組めるよう、各種研修会への参加を呼び掛けるとともに、各校の実践事例の紹介、指導主事の模範授業やマンツーマン指導等を継続して行うなど今後も支援体制を充実させてまいります。

なお、昨年度は自粛や中止を余儀なくされた公民館主催事業や生涯学習関連事業ですが、本年度は新たに策定した第3次成田市生涯学習推進計画に基づき、各種事業を実施するにあたって、実施場所や実施内容に応じて参加人数の調整を行う他、換気や消毒などの感染対策を十分に施して、できる限り事業の実施に努めてまいります。さらに、市立図書館では本年度から新たに電子図書の貸し出しサービスを開始するなど、より一層幅広い年代に親しまれ、利用しやすい図書館を目指してまいります。